

CONTENTS



- 03 アンケート結果から見えてきた
**18歳からの選択肢
卒業後の進路はどうなるの？**
- 07 あなたも応募してみませんか？
英国ダウン症協会（DSA）主催する写真展
MY PERSPECTIVE「私の視点」
「障害者の文化芸術活動を推進する全国ネットワーク会議」に参加
- 08 **表紙のひとこと**
13th World Down Syndrome Day Conference
第13回世界ダウン症の日会議に参加！
「もう一回スピーチしたいくらい楽しかった！」
- 10 **世界ダウン症の日 2024 各地のイベント**
愛知／岡山／兵庫／京都／栃木／福岡／長野／奈良
- 14 **Hello! JDS 支部・準支部 最近の活動報告**
No.1 **JDS 東京練馬支部 / ちゅうりっぷの会**
- 15 ダウン症のある赤ちゃんと育てる家族の支援にかかわる方々へ
「たいせつな赤ちゃんを産み・育てる人に寄り添うときに必要な
こと-地域保健医療に携わる皆様へ」を発行しました
- 16 **今知ることからはじめよう☆オンライン ミニセミナー 令和5年度版 第2回**
「女性の性と健康について」
はしもとクリニック 院長／橋本 洋之先生
- 18 理事会・運営委員会通信 [4月] / INFORMATION

巻頭言

JDS 代表理事／玉井 浩

私たちの中にあるかもしれない「Stereotypes（思い込み、既成概念）」によって、自分たちは覆い包まれているかもしれません。素直な心をいつまでも持ち続ける子どもたちを守ることばかり考えているより、もっと彼らを信じて、レジリエントな強い力を持てるよう行動することも必要でしょう。

「できないから頑張る」は大人の発想であり、「できることは頑張る」が子どもの発想です。「できる」「わかる」ことは楽しい。楽しいことはもっとしたい、何度もやったらほんとにできたという体験が大切です。「わかる」「できる」を経験している子は、「失敗しても平気」と考え

るようになります。“失敗しない工夫”が、達成感や有能感を育てます。

しかし、個人差は大きく、性格も異なりますので、それぞれに合った方法を選択しないといけません。真面目で頑張り屋で、ガラス細工のように繊細なハートをもつ子どもたちに、言葉を選んで丁寧に伝えていくことが必要です。不安が強く過緊張の場合は、安心できる環境を提供し、急がず騒がず、そばにいてあげることが大事です。多様な個々のニーズに応える、オーダーメイドの対応を心がけたいですね。